



浜総企第19号

平成19年4月24日

国土交通省道路局長 様

浜頓別町長 廣瀬 忠雄



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について
平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、別紙の
とおりに提出しますのでよろしくお取り計らい願います。

(総務課企画広報係)

道路整備の促進と安全対策について

当地域は、オホーツクの恵まれた海洋資源と、厳しい中にも緑豊かな自然環境の下で、水産と酪農を主要産業として、わが国の安心安全な食糧生産基地の役割を果たしています。また、林業においても関係者の積極的な取り組みで、地球規模での環境問題や、災害の抑止などに貢献しています。

近年は、こうした各産業分野において、都市住民に癒しや体験を提供する活動も活発化し、観光面における新たな展開に発展しています。

当地域の交通体系は、鉄道が廃止され、道路交通のみとなって久しく、幹線道路の整備促進は、地域の産業活動の振興や住民の緊急医療、更には都市住民との交流に極めて重要な要素となっています。

一方、常呂沖や千島列島東部沖など、最近頻発している地震や津波警報、身近なところで大災害となった竜巻被害などは、地域住民の新たな不安要素でもあり、自然災害時における危機管理、災害に強い地域づくりの面からも、事実上唯一の幹線道路（一般国道238号及び275号）の整備は、当地域の最大の重要課題であります。

このような当地域事情、道路交通事情を考慮し、今後の一般国道238号及び275号の道路整備に当たっては、安全性、確実性の確保とともに、高速走行にも対応し得る規格の高い道路整備や災害に強い道路交通機能を強化することが緊急かつ重要であり、当地域の必要不可欠な共通の課題として、早急な整備が切望されます。